



# The Star in the West

## 東京西ワイズメンズクラブ会報

THE SERVICE CLUB FOR THE YMCA

THEY'S MEN'S CLUB OF TOKYO-NISHI(03)3202-0342

c/o TOKYO YMCA YAMATE CENTER,2-18-12 NISHIWASEDA,SHINJUKU-KU,TOKYO 169-0051,JAPAN

- 国際会長主題 「世界とともにワイズメン」
- アジア会長主題 「100年を越えて変革しよう」
- 東日本区理事主題 「私たちは次の世代のために何ができるか？」
- あずさ部部長主題 「道を拓く～愛と協力によって」
- 東京西クラブ会長主題 「わからないこと、言いたいことは、何でも声に出しましょう！」

### 2022年1月号

NO 544

疲れた者に力をお与え 勢いを失っている者に大きな力を与えられる

イザヤ書40章29節

### あけましておめでとうございます

大野貞次

2022年度を迎えました。新しい歩みが始まりますね。皆様はどんな新年を迎えられましたか？

私は、元旦、実業団の恒例の駅伝を見てから息子たちと食事をして過ごし、2日は教会に行き新年礼拝を守り帰宅、そして箱根駅伝をテレビ観戦、母校を応援しました。残念ながら往路は19位、トップは青山学院、さすがすごい、3日も箱根駅伝、復路もトップは変わらず青山学院の圧倒的な強さを見せつけられた箱根駅伝でした。我が母校は残念ながら20位でした、我がクラブの青山学院大学の出身者におめでとうと申し上げます。そんな正月を過ごしました。

さて我がクラブは、今年は青山学院のような力強い歩みが出てくるのでしょうか。残念ながらできそうにもありませんが、何とか歩みを留めることないように皆様と

力を合わせ今年度を乗り切りたいと考えます。

それにしても新型ウイルスの変異株のオミクロンなる変異株が猛威を振るう事態に恐れを感じながらの生活になりますね。高齢の私たちは特に注意をしながらの生活に成り、外での活動は控えなければならない事態に成りクラブ活動は狭まれるようですね。

残念ながら1月の例会が急遽中止となりました。できれば2月の例会が開催できることを祈ります。さまざまな制約の中での活動ですが、皆様の健康を祈りそして笑顔で再会したいものです。



お正月の花・葉ボタン

### 第2回あずさ部評議会はZoom開催に

2月12日(土)18:00～に予定されていたあずさ部評議会は、オミクロン株の急増でZoom開催となりました。ぜひ初参加の方も挑戦してみてください。

<https://us06web.zoom.us/j/84320929937?pwd=dXdtdanNDdVo0RTc5ZkZlL1ZValR1QT09>

ミーティングID: 843 2092 9937  
パスコード: 299338

### クラブ役員

- 会長 鳥越 成代
- 副会長 吉田 明弘
- 書記 本川 悦子
- 会計 石井 元子
- 担当主事 横山 弥利

12月の記録		ニコニコ	0円
在籍者数 12人 (内功労会員) 1人	メネット 1人	クラブファンド	0円
出席者数 11人	コメント 0人	ファンド残高	113,308円
メーカーキャップ 0人	ビジター 2人	ホテル校ファンド	14,110円
出席率 100%	ゲスト 0人	ホテル校残高	29,810円
内Zoom参加 0人	出席者合計 14人	WHO参加者	—人

**1月例会は休会です**

新型コロナ・オミクロン株が急増したので、例会を中止します。

今月の協調テーマ：EF

**HAPPY BIRTHDAY**

7日 石井 信雄

19日 石井 元子



イタリアンレストランでクリスマスディナー  
サンライズ)

**12月クリスマス例会報告**

12月クリスマス例会は12月16日(木)、定例日に荻窪駅南方徒歩5~6分の住宅地の一角にある家庭的なイタリアンレストラン“ドラマティコ”において開催されました。

時節柄「クリスマス祝会」というよりは「夕食会」と言った例会でした。ですからこれと言ったクリスマスデコレーションはなく、我々の服装もサンタの帽子を被ることもなく、牧師さんのクリスマスメッセージもなく、讚美歌歌唱もプレゼント交換もなく、ひたすらフルコースのイタリアン料理に舌鼓を打ちました。

食事の後は参加者全員のメンバースピーチ。クリスマスの思い出、近況など、おおいに語り合い、あっという間に9時近くなり、ハッピーバースデー、YMCA報告、ワイズ報告をもってお開きとなりました。

ホテル専門学校留学生支援金提供者には村野さんの手作りのプレゼントがありました。クリスマスカードに皆がサインし、IBC台北セントラルクラブに贈りました。この楽しいクリスマス例会にクラブメンバー全員(残念ながら山田利三郎さんは不参加)と、藤井寛敏さん(東京江東クラブ)と菰渕光彦さん(東京サンライズクラブ)が参加してくださいました。(神谷幸男)

出席者：<メンバー>石井、大野、神谷、河原崎、篠原、高嶋、鳥越、本川、村野、吉田、横山、<メネット>神谷、<ビジター>藤井寛敏(東京江東)、菰渕光彦(東京

**—12月事務会報告—**

日時：12月23日(木)

17:00-19:30

会場：ウエルファーム杉並 4F

出席者：石井、大野、河原崎、

篠原、鳥越、本川、吉田

<報告事項>

- ・12月の会計を承認した。
- ・次期国際会長選挙は会長に一任した。

<協議事項 例会関係>

- ・1月の例会 担当A班  
卓話者：花輪豊子さん
- ・2月の例会  
卓話者：岡部明子さん(東京大学教授)『途上国のスラムに生き抜く知恵を学ぶ』
- ・3月の例会  
東京世田谷クラブと合同例会  
担当は世田谷クラブ

<協議事項>

例会以外次期クラブ役員については来年に持ち越した。

- ・ブリテン1月号の編集会議  
(本川悦子)

**2022年在京クラブ新年会  
ハイブリッド方式で**

在京17クラブの新年会が1月8日、午後1時から東京YMCA東陽町センターで行われました。東京YMCA総主事・菅谷淳さん、東日本区理事大久保知宏さんの新年の挨拶を含めて開会セレモニーが15分というところに、ホストクラブ、東京むかでクラブの意図が感じられました。ハイブリッド形式で、会場参加は、ゲスト、

ホストクラブメンバーを含めて40人ほど。

第2部は、NGOジョイセフの甲斐和歌子さんによる特別講演『思い出のランドセルギフト』にご協力を!』でした。アフガニスタンの子どもたちの就学支援、促進のために日本で役目を終えたランドセルを贈ろうという運動をされています。深刻な現地の状況を笑顔で話されるので、思わず引き込まれました。タリバンの中で活動をしているそうです。その後、この運動を石巻広域クラブ、神戸ポートクラブと共に支援している東京むかでクラブの城井廣邦さんから協力要請がありました。

第3部は、参加クラブの2分間限定の状況報告、YMCAの連絡があり、元気なクラブも、苦しくても頑張っている個々の状況がわかりました。

本来この会は、ワイズ側の都合で東京YMCAと協力関係にあるクラブが、ワイズの事情からか、3部(関東東部、東新部、あずさ部)に分かれていることから、年に一度はYMCAスタッフと共に一堂に会しようということから行なってきました。“今はコロナ”のためかありません。通常は午前中にクラブ会長会(担当主事を含む)も開催されますが、今回は中止となり、会場には会長だけが集いました。

1日も早いコロナ終息を願わずにはられません。今回は、会長代理として、吉田が出席しました。特別講演『思い出のランドセルギフト』については、2月号に報告します。(吉田明弘)

**会計からのお願い**

半期分の会費を例会に持参か、振込でお願い致します。

**振込先**

みずほ銀行方南町支店

普通口座 8027928

東京西ワイズメンズクラブ

## ☆☆☆ インタビュー ☆101☆ 青木 義美さんに聴く

熱海クラブ

\* \* \*



—青木さんのお生まれは。

「父は沼津生まれで終戦後本家の仕事（冷凍空調設備の施工）から熱海で独立しました。私は1950年、熱海で生まれましたが、母を早くに失い5年間くらい沼津の本家に弟と引取られて育ちました」

—子どもの頃の一番の思い出は。

「1958年の狩野川台風ですね。腹がふくれた牛や馬の死体が流れている光景が忘れられません。父の再婚を契機に小学校から昨年、土石流災害のあった伊豆山へ住むようになり、中学校は沼津へ通学し、高校は何かの間違いで名門、沼津東高校へ入ってしまい、いつも学校の底辺を支えていました。高校へ入ってから何かを極めたいと県下では少ないボート部へ入部しました、当時は体も細く、いきなりコックスというポジションで上級生チームの舵取りをやらされました。おかげ今でも声の大きいのはそのためです」  
—今の体格からはどう考えても漕ぎ手だと思っていました。

「もっともコックスといえども練習は皆と一緒にやっていたので懸垂は50回くらいは平気でした。強いチームだったので静岡県代表の国体、インターハイまで出させて頂きました。小学生の頃は逆上がりも出来ず通知表の体育は5段階の2でしたので、国体出場なんて親戚中でビックリされたことも忘れられません」

—大学でもやられたのですか。

「ボートが続けたく東京の大学を選びました。工学部（現在は理工学部）は神奈川県生田にあったので練習場の埼玉県戸田から赤羽経由。新宿、池袋をそのまま通過するのは至難の業で何度か新宿教室での勉強もありました。かろうじて4年間で卒業しました。ボート一色の生活でしたが大学2年の秋のオフ、こそと脱走して2か月間ヨーロッパを貧乏旅行してきちゃいました」

—就職は。

「1972年、大学卒業後熱海へ帰って家業に入りました。父・義明は熱海クラブのチャーターメンバーでした」

—青木義明さんは存在感のある方でしたね。1975年の熱海国際大会の時、会場の熱海ニューフジヤホテルの大宴会場は、夜はアイスショー「ホリデー・オン・アイス」がかかっていた。昼は氷の上に絨緞を敷き詰め、大会を行い、夕食が終わると剥がしてリンクにしました。氷がゆるむと事故につながると青木運男さんが徹夜で氷の状態を見守っていたことが語り草ですね。

「あれは、冷凍機のメンテナンスを当社でやっていたからで、私も裏方で働いていましたよ。1983年、私が33歳の時、父が64歳で他界して家業を継いでいた関係もあり、父の友人メンバーにも誘われ1983年に二世メンバーとしてワイズへ入会させて頂きました。当時、クラブには二世メンバーがもうひとり中島寛君（父は中島修さん）がいました。

その後2005年度には熱海クラブ会長、2013年度には富士山部長を歴任させて頂きました」  
—熱海は観光地ですから人の出入りは多いのですが、地元の方は動かず、互いに地元意識が高い。ワイズなど、クラブ活動には良い条件があると思いますが」

—それは言えるかも。街を歩いて

ると日常的にメンバーに顔を合わせますし、小さな打ち合わせは出来ます。われわれ熱海クラブはスキー、キャンプ、市内小学校ドッジボール大会など地域密着の奉仕活動が自慢でもあります。コロナ禍によるメンバー減少にはどの奉仕クラブも頭を抱えていますが、『地域奉仕』を看板に軸足を変えない Spann がとりあえずの策であろうと確信しています」

—お仕事の内容は、40年で随分変わったでしょうね。

「基本的には変わりませんが、以前は10坪ほどの冷蔵庫を作るのにコンクリートで1か月くらいかかりましたが、今はパネル板で1週間で出来ます」

—趣味はアウトドアですか。

「スキー、キャンプは孫と今でも。旅行も車で3,000キロくらい走るのは平気です。クルーズも大好きでホームグラウンドは飛鳥IIですが、海外でも帆船をはじめイタリア沖で沈んだ『コンコルディア』にも乗ったことがあります」  
—お元気ですね。

「こんなオジンで長くワイズに在籍させて頂いているのも青少年活動にかかわる事が出来るからでしょうか。尊敬していた竹内敏朗さん（元国際会長）を追っかけてYMCA活動に首を突っ込んだおかげです。パートナーの優子が、メネットとしていろいろ支えてくれているのもワイズ活動を長くやっていただける原点でしょうか」

—昨年、熱海YMCAが静岡YMCAになり、青木さんは副理事長を務められています。

「YMCA運動を静岡全域に拡げようというのが、富士山部ワイズメンの積年の願いです。全員がYMCA会費を納めています。理事長を受けられた稲田精治さん（沼津）を支えています」

—有難うございました。

（吉田明弘）

## 思い出を辿って 村野絢子

「ぎっこんかいよ」

80 才になって、幼いころから気になっていた思い出がはっきりしたことが多々ある。系統だててとはいかないが、書き出してみたい。

まず幼児の遊び唄である。「ぎっこんかいよ、イネまでやってくれ、イネが遠けりゃ、モンジュまでやってくれ、ぐいっぐいっぐいっ」と幼児と向かい合って座り、両手を握って船をこぐ。いつからかはっきりしないが、身近に幼子がいれば、自然に口に出て遊んでしまう。地図が読めるようになり、イネは宮津の伊根・モンジュは文殊であった。ちなみに文殊は今、天の橋立の知恩院の場所。宮津からイネに行きたいな、無理なら文殊でもいいから漕いでいこうという繰返して飽きない遊びである。宮津ってどこ？ 京都府の日本海側の町です。

母方の祖父川口精一は宮津の出身、宮津藩士の川口通明の子通礼を父に漢学者の娘はなを母に持つ。曾祖父の川口通礼は明治になって廃藩置県で禄を失い、巡查や村長をした。そしてフランス人のカトリック宣教師ルイ ルラブ神父と出会い、夫婦ともに受洗し、カトリック信徒となった。祖父の妹で 50 年前に死亡した大叔母の主原ていは、フランス人のシスターからレース編みや刺繍を習ったと話し、90

才でもレース編みをしていたのを思い出す。宮津カトリック教会の中に女子の為に裁縫伝習所があったと分かり納得した。

祖父精一は早稲田を卒業後日立鉱山に勤務したのち商社（内外通商）を設立した。祖母の川口まつ（旧姓野口）は静岡のお茶問屋の 5 女で青山学院を出たが、その姉たちも双葉、（系列の相良直美も双葉）、静岡英和、同志社とキリスト教主義の女学校に学びそれぞれ異なる土地で寄宿舎生活をしている。

米沢藩士だった山口源之助が裁判官として宮津滞在時に、川口通礼と知り合った。山口家、川口家、野口家は後に深い姻戚関係になる。3 家に連なるいとこ会は 2008 年川口米子伯母が 95 才の誕生会まで続いた。安政 2 年（1856）生まれの通礼と文久 2 年（1862）生れのはな夫妻のキリスト教との出会いが私たち 4 代目に繋がり、娘たち 5 代目へと受け継がれている。主の愛と恵みの大きさ・豊かさにとだけ感謝あるのみである。



川口精一（祖父）とまつ（祖母）

### YMCA Today

■国際ホテル専門学校では、1 年生は 12 月から約 2 か月間のホテル実習が始まりました。都内を中心に横浜や舞浜地区などを加えた 37 か所のホテルで実施しています。終了直後の 2 月からは就職活動が始まりますが、既に多くのホテルの学内企業説明会開催が決定しています。

■2 年生は 12 月第 1 週に授業が終了し、翌週から研修旅行に参加しました。コロナの影響により海外から国内へと変更なり関西、九州、沖縄の 3 コースに分かれ実施、3 か月後に迫る卒業を前に、また素敵な思い出が増えました。また、就職活動状況は先月より 11 ポイント改善し就職率は約 91% となりました。最後まで頑張っている学生達をスタッフ一同でサポートしてまいります。

■高等学院チャリティーコンサート動画配信中。10 月 15 日に赤坂の霊南坂教会で開催したコン

サート動画は、飯靖子さんのオルガンと飯頭さんのヴィオラによるバッハ「トッカータとフーガ」をはじめ、生徒たちによるトーンチャイムや音楽劇を収録。配信は 1 月末日まで。

■「子育て講演会のお知らせ」NHK「すくすく子育て」でもお馴染みの汐見稔幸さんをお迎えし「ポストコロナ・これからの時代に向けて！ 子育てで大切にしたいこと」と題してお話いただきます。動画配信による講演会ですので、お忙しい保護者のみなさまも気軽に視聴いただけます。事前質問も受け付けます。日々の子育てに、どうぞお役立てください。【日時】1 月 29 日（土）10:00～12:00 【参加方法】オンライン 【参加費】無料

■愛恵エッセイ募集「豊かな福祉社会を創るために」をテーマに 20 年余り開催しているエッセイコンテストです。第 23 回となる今年のサブテーマは「パンデミック

（感染症）と私たち」。例年どおり、学生、専門職、一般の 3 部門に分けて募集します。コロナ禍での気づきや提案などをぜひ投稿ください。【締切】1 月 31 日（月）【字数】1600～2000 字

（担当主事 横山弥利）

### 編集後記

新年を迎えて頑張らなければと思いつつ正月ボケで筆がなかなか進みませんでした。そうこうするうちに 1 月の例会が中止になり残念な気持ちになりました。

新型コロナウイルス、特にオミクロン株なるものが猛威を振るい始め都内の感染者も増加の一途をたどっている現状で、その中でクラブ活動ができるのか考えさせられます。1 月の紙面も例会中止により紙面の構成に苦慮することにより発行が遅れてしまい申し訳なく思っております、その中でも寄稿していただいた方々に感謝申し上げます。（T/O）